



## ごあいさつ

盛夏の候 格別のご愛顧、お引立てを賜り有難く厚くお礼申し上げます。

2020年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大によって2度の緊急事態宣言が発令され、飲食業の夜間営業時間短縮要請等、あらゆる分野で活動が制限されたことで、サービス業を中心に著しく経済が落ち込みました。

稚内市を中心とする主営業地区においても、新型コロナウイルスの影響により観光・飲食業を中心に売上が大きく減少し、ホタテ等の魚価も下落しました。資金繰り支援を中心とした危機対応は一巡し、年度終盤にはワクチン接種が開始されたものの、変異株の拡大もあり収束の見通しは不透明で、引き続き予断を許さない状況です。

このような経営環境の中、預金は期中平均残高で前期比2.97%増加、貸出金は新型コロナウイルス感染拡大による資金繰り悪化への迅速な対応に努めた結果、前期比1.64%増加となりました。

収益面では、収益環境が厳しい中、利ざやが縮小し貸倒引当金が増加したものの、国債等の保有有価証券売却益を確保した結果、経常利益で3億64百万円、税引後の当期純利益は2億61百万円とすることができました。

剰余金処分の結果、地域経済を支える原資と位置付けております配当負担の無い利益剰余金は510億27百万円となり、自己資本比率も57.29%と高水準を維持することができました。

当地区は高齢化と急速な人口減少に依然として直面しておりますが、ウイスキー醸造施設の開業やワイン醸造用ブドウの栽培、最大出力50万kW以上となる風力発電施設工事等も進行しており、今後の地域経済活性化が期待されております。

地域社会の持続可能性を高めるため、〈地元とともに繁栄します〉を掲げる信条の下、地域の皆さまと共に役職員一同不断の努力を傾注して参りますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

2021年7月1日

理事長 **増田 雅俊**

## CONTENTS [主な内容]

P 1 信条・マークコンセプト

P 2 金融仲介機能のベンチマーク

P 4 地域貢献・トピックス

P 7 お客さまとの相互交流

P 8 健全経営

P 10 自己資本

P 12 不良債権の状況

P 14 市場占有率

P 15 総代会機能

P 18 事業概況

## 《資料編》

P 23 第77期事業概況

P 40 自己資本の充実状況

P 51 事業のご案内

P 55 主な手数料一覧

P 57 稚内しんきんの概要

P 60 索引